

荒尾市公営企業 水道事業会計

水道事業会計

業務の状況

契約給水戸数・給水人口

区分	年度	22年度	23年度	24年度
給水戸数		20,589戸	20,699戸	20,727戸
給水人口		49,825人	49,056人	49,122人

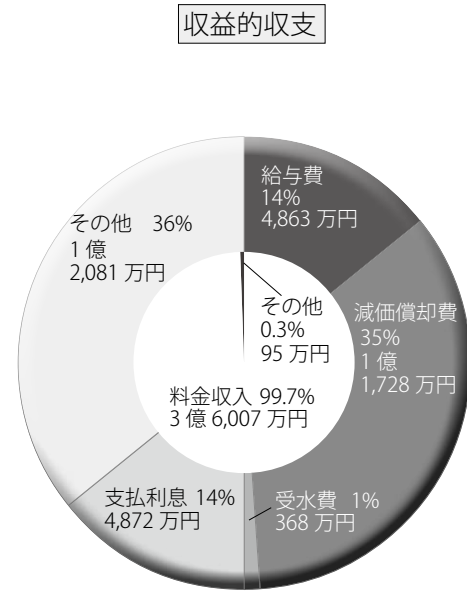
有収水量・配水量

区分	年度	22年度	23年度	24年度
有収水量		259	257	253
配水量		287	283	279

有収水量…家庭や事業所に取り付けられている水道メーターで量った実際に使用された水の量です
配水量…配水池から市内へ送り出された水の量です

資本的収支	
収入	245万円
企業債	0円
工事負担金	245万円
国庫補助金	0円
支出	1億2,318万円
建設改良費	2,334万円
企業債償還金	9,984万円
収支差額	△1億2,073万円

主な建設改良工事		主な実績	
水野地区配水管布設工事	1,548万円	1日最大配水量	16,664
八幡台1丁目配水管更新工事	1,634万円	1日平均配水量	15,243
唐池地区配水管布設工事	963万円	1日平均有収水量	13,801
小野地区配水管更新工事	1,758万円		



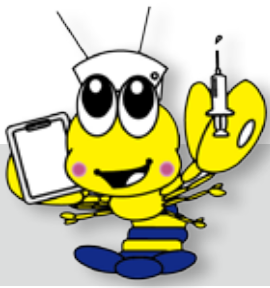
収支差額 2,190万円 (半年)

平成24年度上半期業務状況

平成24年4月1日～9月30日

財政状況を公表します

病院事業会計



業務の状況

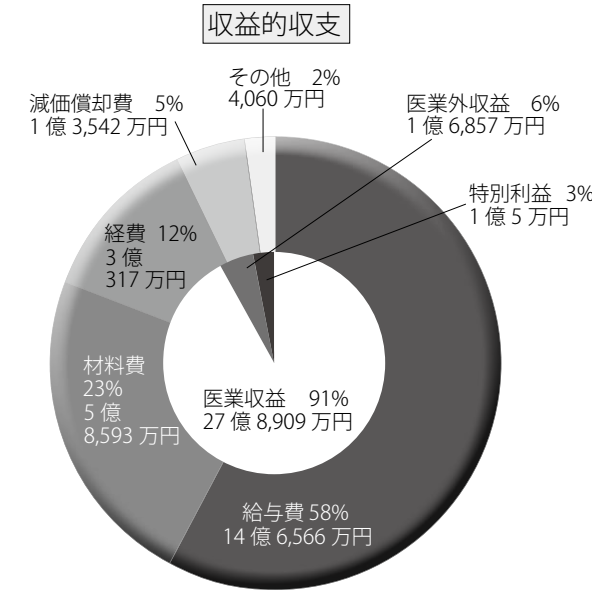
患者数の状況

区分	年度	22年度	23年度	24年度
入院	延患者数	40,099人	40,808人	40,962人
	1日平均患者数	219人	223人	224人
	病床利用率	80.0%	83.3%	83.5%
	平均在院日数	17.8日	17.2日	16.4日
外来	延患者数	43,321人	44,236人	42,607人
	1日平均患者数	349人	357人	341人

資本的収支	
収入	5,000万円
企業債	0円
他会計出資金	5,000万円
支出	4億2,555万円
建設改良費	1億3,932万円
企業債償還金	2億7,598万円
医学生奨学金貸付金	1,000万円
看護学生奨学金貸付金	25万円
収支差額	△3億7,555万円

平成24年度上半期業務状況

平成24年4月1日～9月30日

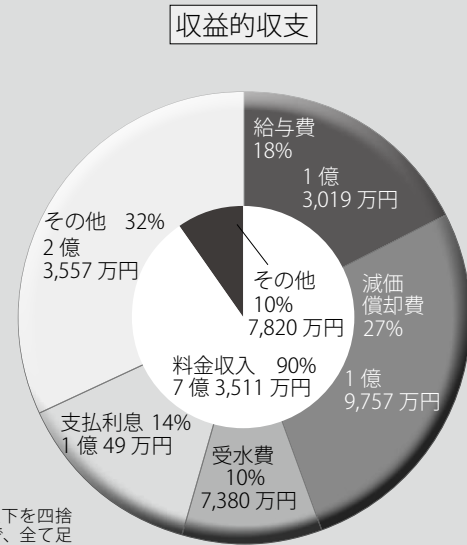


収支差額 5億2,693万円 (半年)

平成23年度決算の概要

平成23年度決算では、節水意識の浸透などにより、使用料が前年度に比べて5万6千立方メートル減少し、料金収入が減少しています。しかし、水道料金などの業務を民間業者に委託し、事務の効率化とサービスの向上を行うとともに、職員数の削減などの経費削減に取り組んだ結果、前年度に比べ、純利益が368万円増加しました。なお、平成23年度でも地方公共団体財政健全化法による資金不足は生じていません。

平成24年度に「ありあけ浄水場」からの給水を開始し、安全で安定的な供給環境が整いました。今後も老朽管の更新事業などによる投資が予想されますが、長期的な展望に立った安定した事業運営に努めます。



収支差額 7,569万円 (1年)

平成23年度決算

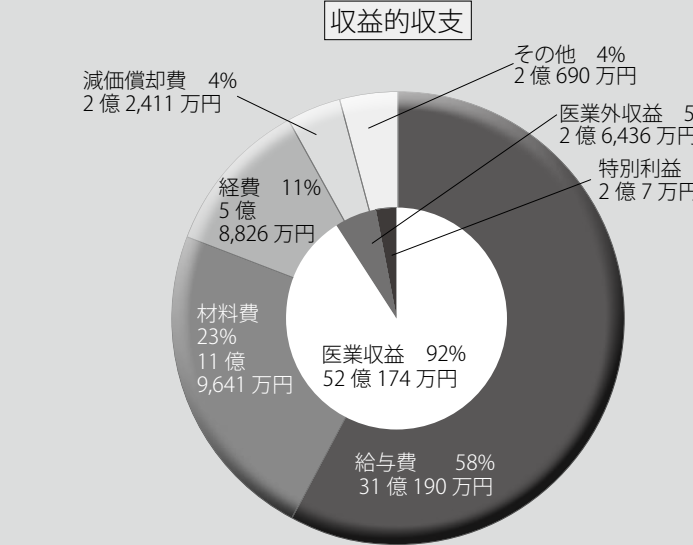
平成23年4月1日～平成24年3月31日

資本的収支	
収入	6億6,935万円
企業債	4億4,610万円
工事負担金	472万円
他会計負担金	974万円
補助金等	2億879万円
支出	10億2,365万円
建設改良費	7億8,174万円
企業債償還金	2億4,191万円
収支差額	△3億5,430万円

貸借対照表			
固定資産	119億4,638万円	負債	8億2,162万円
流動資産	11億6,682万円	固定負債	7,155万円
資産合計	131億1,320万円	流動負債	7億5,007万円
		資本	122億9,158万円
		資本金	74億8,663万円
		自己資本金	26億1,847万円
		借入資本金	48億6,816万円
		剰余金	48億495万円
		負債・資本合計	131億1,320万円

平成23年度決算

平成23年4月1日～平成24年3月31日



収支差額 3億4,859万円 (1年)

貸借対照表			
固定資産	26億6,120万円	負債	31億1,577万円
流動資産	14億4,451万円	固定負債	13億8,318万円
資産合計	41億571万円	流動負債	17億3,259万円
		資本	9億8,994万円
		資本金	40億2,997万円
		剰余金	△30億4,003万円
		負債・資本合計	41億571万円

平成23年度決算の概要

市民病院では、本年度も「中期経営計画」に基づいて経営改善を進めてきました。具体的には次のような改善に取り組みました。

- 医師確保 (放射線治療科+1人)
 - 看護師確保 (+3人) 診療技術師確保 (+8人)
 - 医学生・看護学生奨学金制度の活用 (医学生7人、看護学生3人を認定)
 - 院内保育所に3月末で19人の保育児が入所
- 病院事業の収益的収支は、単年度収支で3億4,859万円の純利益を得て3年連続で黒字決算となりました。平成22年度からの繰り越し事業である放射線治療センターの整備が完了し、平成24年4月から稼働しました。

今後も、急性期医療を中心に、安心安全な医療を提供するとともに、地域医療の確立につながる経営の安定化を図ります。

資本的収支	
収入	6億6,669万円
企業債	5億8,160万円
補助金	216万円
他会計出資金	8,293万円
支出	11億272万円
建設改良費	5億8,872万円
企業債償還金	4億9,680万円
医学生奨学金貸付金	1,540万円
看護学生奨学金貸付金	180万円
収支差額	△4億3,603万円